

◆企画名	Welcome to ピア・コミュニティ 2017
日程	2017年6月7日(水)、6月12日(月)
場所	7日:第2学舎 C505教室 12日:総合学生会館凜風館4階 ミーティングルーム
参加者数	7日:20名(ピア・サポーター7名、研修生10名、学生支援室TA3名) 12日:13名(ピア・サポーター6名、研修生6名、学生支援室TA1名)

目的

- ・ピアエリアの利用方法などについて研修生に知ってもらうことで、今後の活動を円滑にすすめられるようにする。
- ・楽しみながらワークを行い、研修生同士の交流を促すことで、コミュニティ間の連携につなげる。

内容

〔コミュニティ紹介について〕

ピア・コミュニティ運営本部、KU サポーターズ、KU サポートプランナー、KU コアラ、KU ブリッジの5つのコミュニティの活動理念や最近の活動と、現在活動休止中であるi.com、ぴあかんず、ピア・スポーツコミュニティについても活動理念について紹介した。

〔自己紹介、他己紹介について〕

初めて顔を合わせる参加者が多いため、最初に自己紹介を行い、お互いに顔見知りとなってもらった。その後に予告せず他己紹介も行ってもらうことで楽しみながら緊張をほぐし、お互いのことを知ってもらった。

〔ワークについて〕

昨年度三浦先生のスキルアップ講座「思いやりを形にする」で教わった情報共有ワーク「いろいろな人が住むマンション」を行った。これはマンションの住人を推理するゲームで、それぞれに数枚のカードを配り、各自が持っている情報を口頭で共有し、全員で協力して住人を考えることで情報共有の大切さを感じ取ることを目的としたものである。また、話しやすい環境を作ることで、参加者が今後ピア・サポート活動の中で横のつながりにより継続的な他コミュニティとの交流を持てるようにした。

〔備品説明について〕

ピアエリアに移動し、備品の取り扱いなどピアエリアを使用する際の注意点について研修生マニュアルを使用して説明した。

効果

- ・和やかな雰囲気で開催を行うことで、研修生同士の仲を深めることができた。
- ・ワーク後に行ったアンケートでも、グループで協力して考えることで仲を深めることができたという感想があったため、楽しみながらワークを行い、研修生同士の交流を促すという目的を達成できた。

改善点

- ・パワーポイントを使用した指示のタイミングを参加者目線で考える必要がある。
- ・ピアエリアに移動する際などに、参加者の移動をスムーズに行うために、案内係のようなものを配置すべきだと考えられる。
- ・備品説明では、実際に備品を手にしながらい説明する必要がある。

感想

- ・全体を通して、和やかな雰囲気の中で研修生同士の交流を促し、楽しみながらピア・コミュニティについて知ってもらうことができたと思う。
- ・研修生対象の催しなので、当日のワークの流れなど分からない部分も多かったはずなので、もう少し研修生目線ですすすめることができると、より良い企画にすることができると思う。